



発行所 福島縣平市南町六六(平局区内) 株式会社 磐城毎日新聞社 印刷人 遠藤孝倫 編集長 伊藤秀吉 電話(平)一〇一〇番

御愛読 下さい

豪雨の波状襲来

各地の農作物被害甚大

連日に亘る波状の降雨は管内全部に亘つて被害をあたえてゐる、十四日午前十時まで入った情報によると内郷町の家屋浸水千戸を始め各地を合せて一千二百二十七戸、家屋倒壊三件、田畑冠水五百五十五町歩、道路決壊一キロ

各地被害状況

十四日午前十時現在

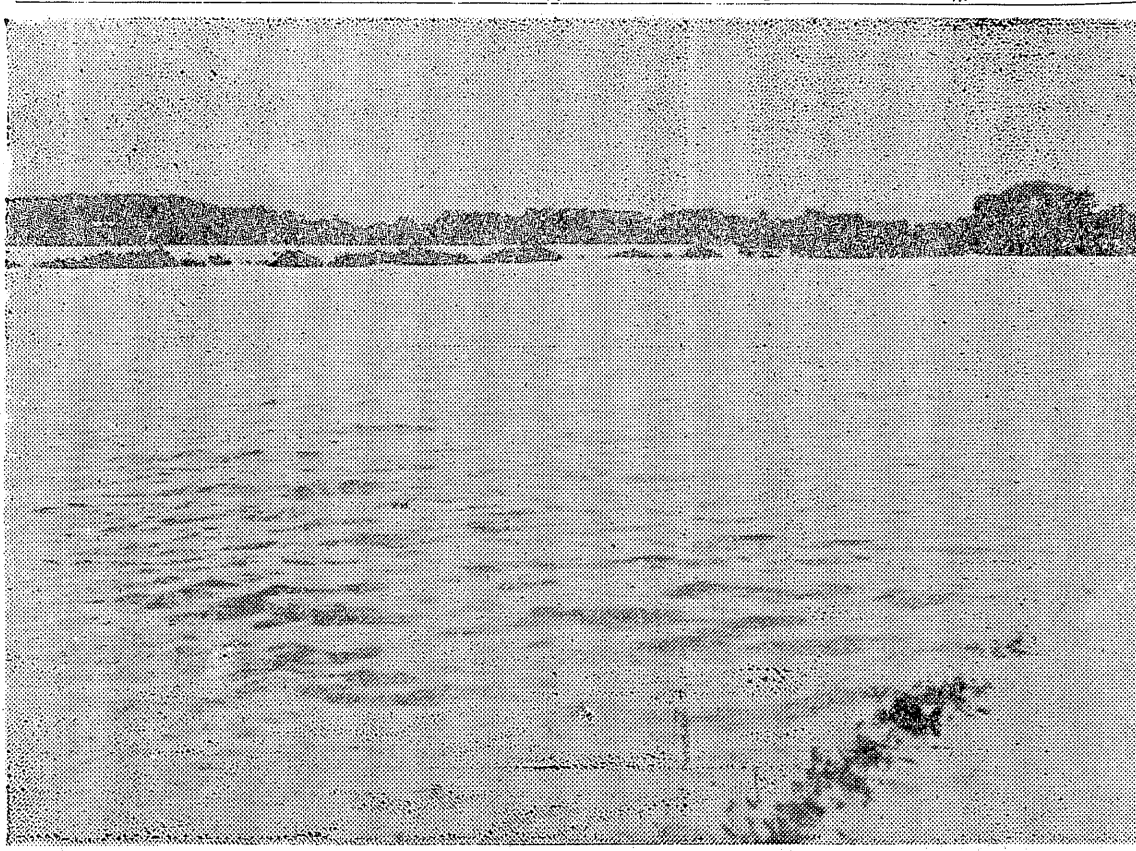
△夏井村地内夏井川氾濫の歩、茶畑畑五町歩、同村すため附近の田畑約二百町歩向原駐在所前道路冠水一〇〇米、神谷、草野、間道路冠水一〇〇米、草野、大浦間道路冠水一〇〇米、消防團五十名出動、目下警戒中
△同地内村道中一箇半、長△湯本町大字天王崎地内附サ約十間に亘つて土砂崩壊のため埋没
△高久村地内津橋川の氾濫のため冠水田畑一町歩
△勿来町關内地下浸水三戸
△同地内茨城、福島間を結ぶ高麗線鐵塔五基が地盤が弛んだため倒壊、損害調査中
△同字關内九箇間の陸道二十米は山崩れ寸前のため危険、目下警戒中
△植田町鯉川九尺増水、同川沿岸一字香心下附近浸水十六戸、冠水田三十町歩、麥畑流失五六町歩
△錦町 冠水田二町歩
△草野村 冠水田一五町歩、麥、馬鈴薯、畑六十町歩

社説

平市の水害問題

降りつゞく雨に特に平市の水害將來除去論を筆にする、古川の河線工事は完成したるも尚ほ新川の洪水は強雨ともなれば氾濫し兩川共に夏井川の逆流をくわつて市役所附近が新川に其南面一帯は濁水に浸たるの有様で毎年幾度かこの惨事を演出するものである、これを解決するには夏井

田植の頃 二中二ノ一 八木美和子 「なんだ、手をつかまえるのははなせ！」 「道男、やめてよ」 「うだい、あんなうらやましい声は聞きたくないから」 「さういふことばは聞きたくないから」 「さういふことばは聞きたくないから」 「さういふことばは聞きたくないから」



平工高校教室増築

機械設備は百万円で 春開校段決る

平工業高等學校では教室の増築と機械設備の充實を計る爲め縣當局に申請中の一、二日地方事務所職員の協力を得、行はれた技術員會議に於いては片倉大泉製絲工場の参加した、工事は六月中に着手する、設備費は百万円で内外決定した、一、玉蘭一、六百五十円、一、玉蘭二、六百二十円

みどり 平一、四の二 水野壽美子 あぢやかな みどりよ あかいろ みどりよ わらやを つつむ かをる かをる わかばが かをる 思いきり聲を出してうたつてみよした、じょうすにうたえるよ、なつたから山のみどりを見ながらうたつてみよした、ここにはいつからあしたの朝は明るくみどりを見ながらうたつてみよした

眞木恒氏

辯護士、市會議員 法廷に於ける戦術や技術のかけひきなどに入つたもので情理主義や實情解明論などは判官諸公に認識を深めさせる点など豊かな技術的批判に有効性を認めざるを得ないものが多くある

降雨量高秋、勿來が多い 水戸管理部平保護區調査十四日午前十時現在の雨量は一・五、湯本三・九、勿來六・〇、高秋八・〇ミリで九日からの総雨量は同日十四日十時現在平二・二、湯本二・一、七・二、勿來二・三、五、高秋二・六、六ミリとなつてゐる

夏井村中學 校庭崩壊河を埋む 十四日午前二時頃夏井村校庭崩壊河を埋む

平商工會議所 片倉工業株式會社 平製絲所 日本出版關東 東北支部 磐城證券株式會社

